

【燃料装荷後の健全性確認】

工 程	進 捗 状 況
○ 燃料配置確認 (4/26 完了)	○ 装荷された燃料が正しい配置であることを確認
○ 未臨界状態の確認 (4/27 完了)	○ 制御棒を1組完全に引き抜いても未臨界状態であることを確認
○ 原子炉圧力容器の漏えい確認 (5/20 完了)	○ 原子炉圧力容器や配管に水を張り、加圧した後、原子炉圧力容器や配管等から水の漏えいがないことを確認
○ 制御棒駆動機構の機能確認 (5/21 完了)	○ 制御棒1組(2本)を全て引き抜いた後、水圧で急速に挿入し、原子炉の緊急停止(スクラム)機能を205本※ある全ての制御棒で確認 ※ 1本のみ単独で制御棒の機能確認を実施
○ 原子炉格納容器の漏えい率確認 (5/29 完了)	○ 格納容器に窒素ガスを充填し、加圧後に格納容器から漏れ出る1日あたりの窒素ガスの漏えい率を測定し、漏えい率が基準値以下であることを確認
○ 非常用炉心冷却系機能などの確認 (6/1 完了)	○ 非常用ディーゼル発電機、非常用炉心冷却系が、所定の時間内に自動起動し、自動起動したポンプが所定の能力を発揮できることを確認

【特記事項】

- 主要な健全性確認が完了したことから、本日(6/3)より、7号機全体として弁の開閉確認など原子炉に係る設備が問題なく機能出来る状態であるかの確認(系統構成)を行ってまいります。